

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 3 月 1 日作成)

小委員会名	農村居住小委員会		主 査 名：山崎寿一 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会		委員長名：三橋伸夫
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2010 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	① 国土形成・国土管理や都市と農村の共生の視点から、現代の多様な農村居住に焦点をあて、新たな農村計画の可能性、持続可能な地域社会と環境の形成における役割と可能性を調査研究する。 ② 上記に関連する公開研究会、シンポジウムを開催する。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 山崎寿一(主査・神戸大)、山崎義人(幹事・兵庫県立大)、篠部裕(幹事・呉高専)、熊野稔(徳山高専)、木下勇(千葉大)、高橋隆行、戸田敏行(東三河地域研究センター)、沼野夏生(東北工大)、金木健(石川高専)、中島熙八郎(熊本県立大)、藍沢宏(東工大)、森川稔(滋賀県立大)、村本徹(名寄大)、大和田清隆((財)都市防災研究所・主任研究員/静岡大学・客員教授)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2008 年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. 研究協議会：農村の新しいガバナンスが創る国土 参加人数 60 名 『農村計画部門研究協議会資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 大会農村計画部門研究協議会とその後のワークショップ(農村建築研究会との共催)とが連携でき、想定以上の成果をあげることができた。
委員会活動の問題点・課題	案内原稿の締め切りに間に合わず、公開研究会の案内を『建築雑誌』に掲載することができなかった。そのため小委員会主催の正式行事として開催できなかった。